

アウトドアスポーツやまぐち協同組合

関係人口から共創人口を創み出す実証事業プラットフォームに



設立の経緯と現状

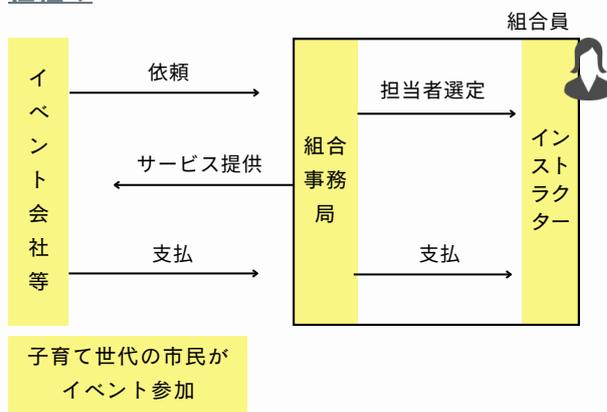
組合設立前の課題

- 裸足で遊べるプレーパーク「ハダシランド」を構想
- 公園で実証実験する際、個人や任意団体では使用許可を得ることにかかなりの労力を費やし、行政や企業と交渉するために組織の必要性を痛感

組合設立の効果と現状

- 事業協同組合は県知事認可を受けているという点で信頼度が別次元に向上
- 「ハダシランド」は子育て世代に訴求できるコンテンツとして人気に
- 行政や大企業からの依頼で計100回以上の開催、総来場者数は3万人、会員7000家族

仕組み



アウトドアスポーツやまぐち協同組合
組合員：5名 設立：令和4年7月
事業：組合員の行うスポーツインストラクター業務の共同受注
H P：<https://outdoor-sports-yamaguchi.coop/>



POINT

組合員のハダシで遊べるプレーパーク「ハダシランド」の運営をサポートし、子育て世代の為のコミュニティを創出。様々な事業者の共創事業を創出するプラットフォームとしてレガシー企業や行政から注目されている。